



まちとともに 150 年

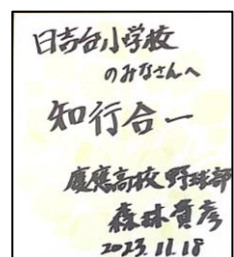
校長 吉井 宣明

11月18日土曜日。心地よい晴天のもと、児童の実行委員が司会「日吉台小 150才を祝う会」と大人の会である「横浜市立日吉台小学校 創立150周年記念式典」を執り行うことができました。児童実行委員の子どもたちは本当にここまで頑張ってきて、祝う会が終わったところで「長かったぁ。」ともらしていたそうです。それもそのはず、6年生の実行委員の中には、昨年度5年生の時から有志の実行委員として参加し、ゆるキャラコンテストの開催やカウントダウンボードの設置をはじめとした企画運営を行い、1年以上も活動に関わり続けてきた児童にとって、長かったという感想もうなずけます。そんな長期にわたり頑張ってくれた6年生の実行委員も、今年度に正式に委員会活動として始まり参加した5年生の実行委員も、お疲れ様でした。何かを成し遂げるために努力した経験は、きっと貴重だったに違いありません。



また、この「日吉台小 150才を祝う会」には、特別ゲストとして慶應義塾高校の野球部監督森林貴彦氏に来ていただくことができました。慶應義塾高校野球部といえば、以前この学校だよりも取り上げさせていただきましたが、今年の夏の甲子園(全国高校野球選手権記念大会)にて107年ぶり2度目の全国制覇を達成したことで大きな話題になりました。地元の高校の大活躍ということで、日吉の町も大変盛り上がったことが記憶に新しいところです。縁あって森林監督に来ていただき、日吉台小学校の子どもたちに向けてメッセージを頂けたことは、大変ありがたかったです。まずは「目標をもつこと」が大切ということ。しかし、ただ目標をもつだけではだめ。「日本一になりたい」と目標を立てただけで日本一になったわけ

ではなく、そのための努力をしたから。「目標の為に一步一步積み重ねていく」ことが同時に大切だと伝えていただきました。祝う会の中のプログラムの一つで、短い時間ではありましたが、子どもたちの心に大きなお土産を与えていただきました。また、翌週の朝会では、校長の話として森林監督からいただいた色紙に書かれた「知行合一」という四字熟語の解説を行いました。こちらも、しっかり子どもたちの心に響いてくれたようです。



150周年記念事業として、多くの取組が行われてきましたが、そのどれもが子どもたちの頑張りや、歴代PTA役員と本校職員を中心とした実行委員の「子どもたちの為になるなら」と骨身を惜しまず奔走していただいたこと。そして日吉台小の為ならと応援や支援をしてくださった地域の皆様。本当に多くの力で作り上げた150周年であったと痛感しております。この記念すべき節目に学校長という立場で関わらせていただき幸せです。日本でも最も歴史のある小学校の一つである日吉台小学校がこれからも200年300年とその長い歴史を刻み続けていくことを願っています。